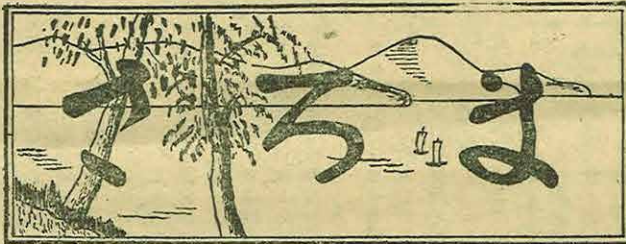


恐しいバイキンを
運ぶはえを
退治しましょう。



第 4 1 号
発行 佐 呂 間 町 役 場
発行人 佐呂間町長 船木長一郎
編集人 総務課・庶務係
印刷所 佐 呂 間 印 刷 所

別表

昭和34年度一般会計款別予算額
(昭和34.7.10追加更正) 単位千円

歳 入		予 算 額
款 別	予 算 額	
1 町 税	37,981	
2 地方交付税	42,160	
3 公営企業及び財産収入	2,273	
4 使用料及手数料	4,185	
5 国庫支出金	10,579	
6 道支出金	3,263	
7 寄附金	698	
8 繰越金	10	
9 繰入金	16,739	
10 雑収入	7,465	
11 町 債	4,900	
合 計	130,253	
歳 出		予 算 額
款 別	予 算 額	
1 議会費	2,299	
2 役場費	23,613	
3 消防費	4,938	
4 土木費	12,068	
5 教育費	30,582	
6 社会及労働施設費	10,718	
7 保健衛生費	1,454	
8 産業経済費	20,559	
9 財産費	3,600	
10 統計調査費	148	
11 選挙費	538	
12 公債費	13,715	
13 諸支出金	5,521	
14 予備費	500	
合 計	130,253	

町では定例第二回町議会を七月十日召集し昭和三十四年度追加更正予算、条例の一部改正等二十七件の議案を提案議決されました。主な内容は次のとおりです。
・昭和三十四年度一般会計歳入歳出追加更正予算、当初予算より四、五四〇千円の追加をなし総額一三〇、二五三千円となりました。
・歳出の主な増減、事業等は
△ジープ購入 (単位千円) 一、三三〇
△山火出動費 五五
△栄市街火防井戸新設七五
△浜佐呂間小中学校給水施設新設 七〇
△追加後(三二〇)
△佐呂間高等中学校増築工事 (減額後三、一四五)
△佐呂間公民館新築工事 六、一一〇
△議事堂移築工事を含む
△母子生活一時資金貸付金 一〇〇
△佐呂間、若佐屋敷板へい及び汚水溜改築工事 一四〇
△農業防除共同ミスト購入補助 一七
△遠軽家畜保健衛生所整備負担金 九二
・なお追加更正後の款別予算額は別表のとおりです。
・町有林会計歳入歳出追加更正予算(追加更正後五四二、九二九千円)今回の追加は三〇、〇五四千円で歳出の主なものは
(単位千円)
△国有林買受地保存登記登録税 一八八
△立木火災保険料 八〇五

定例第二回 町議会開催

△買受植林地地下刈人夫賃 三七九
△林内歩道新設人夫賃七五
△国有林買受代金償還金 二、七八四
△一般会計繰出金 五、八三三
・条例の一部改正
町税条例の一部が次のように改正になりました。
一、固定資産税の税率が百分の二、五から百分の二、一に下りました。
二、土地、家屋、償却資産の免税点が次のように変りました。
1 土地一平方メートルが二平方メートルに
2 家屋一平方メートルが三平方メートルに
3 償却資産十平方メートルが十五平方メートルに
・尚今回の改正は法律の改正によつてなされたもので

国民年金 制度について

道民生部によつて国民年金制度が新設され、今春発足した国民年金制度の仕事を進めておられます。今年の十一月から国民年金の(これを福祉年金といふ)特別支給が開始されますが、この国民年金制度の趣旨と内容について紹介いたします。
(道民生部国民年金課 趣旨)
国民年金制度といふは、厚生年金制度といふは、厚生

ひるがえつて最近の人口の動きをみると、高齢人口が急に伸びて国民全体に占めるその比率は次第に増加しています。しかし、高齢者の生活状態は、戦前に比べてむしろ厳しく思ふれない現情にありまふ。
また、身体障害者、母子世帯もやはり同じように不幸な境遇にありまふ。
こうした実情から国民のすべてが年金制度を生活設計のよりどころとして、しかも共同連帯で国民生活の安定をはかるというねらいで、このたび国民年金制度ができました。

種別	被保険者	保険料	支給要件	年金額	実施時期
老齢年金	20才~59才(日本国民で国内居住) ただし、現行公的年金制度適用者と受給者は除く、その配偶者と学生は任意適用	20才~34才 100円 35才~59才 150円 ただし、拠出能力ないときは免除される	・保険料二十五年以上納付 ・六十五才以上に支給 ・一定期間の保険料納付 ・一定程度廃疾 ・重度の廃疾(両腕または両足程度) ・一定期間の保険料納付 ・夫と死別 ・十八才未満の子 ・第二子以降 ・一定期間の保険料納付の父(母)と死別 ・父母いずれとも死別 ・十八才未満の子 ・第二子以降 ・十年以上婚姻継続 ・老齢年金受給者の六十五才未満の夫と死別 ・六十才~六十五才の間支給	25年.....24,000円 40年.....42,000円 7,200円~10,500円 1人4,800円加算 19,200円25,800円 1人4,800円加算 24,000円, 4,200円 6,000円加算	35年10月1日より 36年4月1日より

「教員人事」

「退職」
佐呂間中学校 教諭 大倉キミ(家庭の都合により退職の上斜里町へ)
「転出」
仁倉中学校 教諭 三木伸哉(一身上の都合により美幌中学校へ)
以上 六月三十日付

種別	支給対象者	支給停止	請求	方請求	年金額	支払時期
老齢福祉年金	1 七十才以上 2 制度発足当時一定年令以上 3 拠出能力乏しいため必要の保険料を拠出できなかったもの (補完的)	1 制度発足当時二十才以上 2 七十才未満で一定年令以上 (補完的)	1 制度発足当時七十才以上の人、上記の障害1項と母子1項の該当者は本年9月1日 2 11月2日以後七十才になった人、上記の障害2項と母子2項の該当者は該当した日から	福祉年金裁定請求書に所定の関係書類を添えて市町村長に提出する	12,000円(子が二人以上あるときは二人目から一人につき2,400円加算) 18,000円 12,000円	1 34年11月~35年2月分は35年3月 2 その他は毎年1,59月の3期にそれぞれ前月までの分

「別表」
障害の状況
.....
この表でお分りのとおり、今年から開始するのは無条件で市町村に交付するもので、支給対象者の条件を備えている人は一人ももれなく裁定請求して下さい。
六月一日付 仁倉中学校 教諭 富樫政夫(函館商科短大卒) 七月一日付
八月二十七日 楽しい夏休みに 鍛えよう
町内小学校及び中学校の夏期休業(夏休み)は来る七月二十七日から八月二十日迄二十五日間決定したが各校から休みの中が注意事項や学習並びに研究課題等指導がなされるが家庭に於ける自習として自習に励むの好意でもあるので夏休みの過ごし方についてより一層健康にしよう。
八月十三日 午前十時から午後三時まで

採取は禁じられています

ますから十分注意してく　く中耕除草することによ

除草適期とあわせて、浅甜菜は生育の差のひどく中耕除草することによ目立つほ場が多いが、

期に防除することが大
です。この虫は低温性
から十分は場を観察して、
施肥の万全を期して下さい

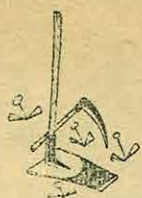
全を期して下さは除草最盛期で

りのある警察の
警察官の努力や注

○キロを十分遅く行
警察官の努力や活動のあら

察署の大きさによつて違
ますが、およそ次のよう
☆紙面の都合により
六頁につづく

て、浅甜菜は生育の差のひどく切です。この虫は低温性施肥
とによ目立つ場合は多いが、害虫で、今年のように六い。



突して死亡した人が佐呂間にもあります。おそろしい事です。

ある警察のしくみと、
督を受けなが
います。

人事、教養、厚生、広報
などの仕事

●町内開催分
一日～四日 学校巡回映画会(児童劇)心をなぐ虹。教材映画上手なミシンの使い方。太陽と地球の動き。といった。瀬戸内海。マンガ映画。小島太郎ちゃん。町内八校巡回映画。
二日～三日 管内青少年クラブ研修会 浪速小学校前浜
八日～二十日 公民館巡回映画会(東京えくぼ、競技大会 上湧別町)

七月の社会教育関係行事

●町外開催分
五日 遠軽地区青年陸上競技大会
六日 遠軽地区青年陸上競技大会
七日 遠軽地区青年陸上競技大会
八日 遠軽地区青年陸上競技大会
九日 遠軽地区青年陸上競技大会
十日 遠軽地区青年陸上競技大会
十一日 遠軽地区青年陸上競技大会
十二日 遠軽地区青年陸上競技大会
十三日 遠軽地区青年陸上競技大会
十四日 遠軽地区青年陸上競技大会
十五日 遠軽地区青年陸上競技大会
十六日 遠軽地区青年陸上競技大会
十七日 遠軽地区青年陸上競技大会
十八日 遠軽地区青年陸上競技大会
十九日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十一日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十二日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十三日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十四日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十五日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十六日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十七日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十八日 遠軽地区青年陸上競技大会
二十九日 遠軽地区青年陸上競技大会
三十日 遠軽地区青年陸上競技大会
三十一日 遠軽地区青年陸上競技大会

表七 緑肥一戸平均生産量及面積

年次	緑	肥	堆	肥	堆
25	1,000	2,200	3,000		
26	1,000	3,500	3,000		
27	1,500	3,850	3,350		
28	1,600	3,800	3,300		
29	1,750	3,900	3,450		
30	1,800	4,500	3,320		
31	1,820	5,850	4,400		
32	2,250	7,350	5,253		
33	2,300	8,450	5,260		
34	2,800	9,000			
35	2,850	10,500			

表八 土地所有状況

区分	面積	20~30ヘクタール	20~10ヘクタール	10ヘクタール以下
戸数	9	3	1	
比率	69.5%	23.0%	7.5%	

項目	総面積	一戸平均	比率
耕作	ヘクタール	ヘクタール	%
畑	109.59	8.43	43.2
牧草地	35.10	2.70	15.6
畑地計	144.69	11.13	63.8
その他			
薪炭林	38.44	2.95	17.0
放牧地	23.99	1.84	10.0
その他	21.35	1.63	9.2
小計	83.78	6.42	36.2
合計	228.47	17.52	100.0

表九 作物作付状況 (総作付面積に対する割合)

年次	販売作物	食用作物	飼料作物	牧草
23	78	9.0	6.8	6.2
25	75	7.0	8.0	10.0
35	62	5.5	12.5	20.0
33	54	5.0	17.0	24.0
35	51	5.0	18.0	26.0

表十 耕土改良年次計画と実績

項目 年次	心 土 耕				酸 度 矯 正			
	計画	実施	比率	1戸当り	計画	実施	比率	1戸当り
31	14,4	14,0	97	1,1	18,5	19,0	105	1,4
32	14,6	15,8	108	1,2	19,0	20,1	106	1,5
33	14,7	15,9	108	1,2	19,3	21,3	110	1,6
34	15,8				20,4			
35	16,9				21,5			

表十一 家畜増殖年次計画と実績

年次	25年	31年	32年	33年	34年	35年
種別	計画	実施	計画	実施	計画	実施
乳成牛	6	12	12	18	30	30
育成牛	2	4	4	3	18	13
牛計	8	16	16	21	48	43
耕馬	25	26	26	26	26	26
小細羊	20	38	38	38	38	38
豚	1	1	3	3	5	8
鶏	200	450	442	500	513	700
乳牛飼養戸数	5	9	9	10	13	13
1戸平均乳牛頭数	0.6	1.2	1.2	2.1	2.7	3.0
5頭以上						
搾乳頭数別						
4頭						
3頭						
2頭	1	1	1	3	3	4
1頭	4	4	4	3	3	3

表十二 農機具導入計画と実績 (註) ()印は共有

項目	動力脱穀機	カッター	双輪プラウ	デスクロー
年次	計画	実施	計画	実施
31	8	8	8	8
32	2	2	(1)	2
33	1	1		1
34	1	1		1
35	1	1		2
計	13	11	10	13

表十三 施設計画と実績

項目	倉庫	堆肥場	尿溜	サイロ	改良風呂
年次	計画	実施	計画	実施	計画
31	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
32	(2)	(2)	(2)		
33				(1)	(1)
34					
35					
計	(3)	(3)	(3)	(2)	(2)

表十四 施設計画と実績

項目	倉庫	堆肥場	尿溜	サイロ	改良風呂
年次	計画	実施	計画	実施	計画
31	13	8	6	6	3
32	1	1	1	2	3
33	2	1	3	1	3
34	3		2		4
35	3		1		3
計	9	15	13	9	13

表十五 (其の1) 昭和33年度事業計画と実績

部門	月別	計		画		実		施	
		事業名	規模	予算	月日	内容	規模	支出	
組	1	總會	1	1,200	1,11	役員改選、事業計画、予算設定	1	1,250	
	3	報恩講	1	1,500	4,13	報恩講並に戦没者追悼会	1	1,600	
	5	花見	1	2,500	5,11	公会堂にて組合員全員に行う	1	2,500	
	6	農民運動会	1	700	6,10	中小学校運動会に参加	1	600	
	11	組合資金造成	1		11, 20 21	抗本切り(2日間) 15,000	2日		
合	7	慰安旅行	1	25,000	7,3	糠平ダム(全員)	1	23,300	
	12	経営診断	1	1,000	12,20		1	900	
	12	反省会	1	1,200	12,23		1	1,150	
生産	7	亜麻増産共助会	1	1,300	7,29	多収穫共助会	1	1,000	
	3	堆肥共助会	1	1,200	7,25	増産 "	1	1,300	
	7	飼料共助会	1	1,000	7,15	多収穫 "	1	1,200	
	5	増殖圃	1		5,5	馬鈴薯 "			
	5	研究圃	1		5,1	亜麻 "			
	5	展示圃	1						
	6	品評会	1	500	6,18	家畜品評会出陳(農協)	1	500	
部	3	講習会	1	500	2,24	衛生管理(家畜)	1	500	
	4	"	1	500	3,15	病虫害防除	1	500	
	5,9,12	共同飼育下し	3		5,9,12	1ヶ所集めて行う	3		
	5~8	施設(サイロ堆肥場、畜舎、尿溜)	3		5~8	共同作業	7		
経営	7	視察(先進地)	1	2,000	7,3	上士幌共助部落	1	2,000	
	3	講習会	2		2~4	肥料と病害虫、気象と農業経営	2	1,000	
	8	研究会	4	2,000	7~10	作況調査		2,000	
	5	土地改良心土耕			5	農協トラクター			
	5	" 深耕			5	元旭山トラクター			
	5	" 酸土矯正			5	ドロマイト溶燐炭カル			
	12	乳牛導入	1						

農村の矛盾

(五月十日の日記より)

幌岩青年団 X 子

生活記録欄

帰りは気が悪かった。恐ろしさを背に、自転車のハンドルを握りしめて懸命にペダルを踏んだ。ある角まで来ると前を重なる足で道を急ぐ。一人の女の人がクワなどを運んで農作業の帰り道だ。私はやつと落ちて着いた。その家さんは、農家に嫁いだ運命だと思つて諦めていたと云つて、凡てを諦めていた。子供が

別れてから自転車に乗らず歩いて歩いた。私もいずれば嫁がなければならぬ事を考えると、このお嫁さんの様に、只子供の事ばかりで送る一生ならつまらないと思つた。何の喜びも楽しみもなく、黙々と朝の早くから夜の手の見えなくなるまで働いた。家へ入つては食事、子供のことで、天手古舞の休まる暇がない。なかなか嫁が嫁に何かにと云はれる。農家の嫁さんはこれが現状かもしれない。

私が常に考えさせられる事は、姑さんは娘と嫁とは全く違つた立場からみているという事である。お嫁さんを買つたら何故、自分の娘と同様に出来ないのだからか？又、あるお嫁さんは先ほどお嫁さんと言つた。お姑さんの若い達者なのは先立つて権利ばかり振つて困りものだ……と云つていた。しかしそれが姑さんが肉親であつたらどうでしょう？

結局このお嫁さんの気持ちも姑だからと頭から思ひ込んでいるせいだと思ふ。



嫁は息子だけのもの

支部 富木政子

でも戦争に勝たねばと子供から年寄りに至るまで粗食を舌つつみながら、雪の多い冬でも、毎年男は山稼ぎに行き、女子供年寄が家畜の世話をして留守をするという部落でした。

戸数二十三戸位の部落では

此の年も寒い冬も過ぎて男の人達は山からポツポツ下つて来て、若い人々の中では、誰さんと誰さんが仲がいいそうだ……とか、誰さんは畑にかかると前に貰うそうだ……とか、本当に田舎の事として別に視たり聞いたりする娯楽とともなく、よるとさざると他人の話ばかり……。そのウワサの中に

サア!!と云うとやれ草刈りだ、落し物だと、隣近所手伝い合い乍ら、秋を早く済ませる習はしでした。そういうして手伝い合つていううちに、今の言葉で言うところと恋愛とか言うのでしょ

うが、隣部落の秋野カナ子さんと、朝に夕に二人で歩く姿が村人の目につくようになりました。

子供が二つになつた頃からどうしたものか、国道の真中へ出て来てお姑さんのリカさんは火ばさみ、お嫁さんのカナ子さんは棒切れをもち、まるで時代劇の立廻

りの様な場面が、集乳所へ行く若い人達の目に一日おき、二日おきくらいに見せられる様になりまして、大変部落の人々も必配していましたが、およめさんは子供を置いたままいつ帰つたともなく実家に帰つてしまっていました。そして実家で一生懸命働いて居りましたが夫の清香さんは毎日の様に

く事になりました。私も勝手の方のお手伝いに頼まれましたのですが、いつの間に誰が仲に入つて連れもどして来たか、およめさんのカナ子さんがチャンと仕度をし赤ちゃんをおんぶして

★★.....★★

生活記録



四ツの子を連れて村の人々と一緒に夫を迎えに行くものでした。お姑さんのリカさんは一生懸命流しで御馳走しらへてでした。誰の目かしらにも何かしら光るものがありました。

話によるとリカさんは、自分が出してやつたのだから恥ずかしくて他人様に仲に入つて下さい……なんて

私共の生活をよくみつめよりよい生活に高めるために必要な問題点につき、記録を通して検討するため、早くから町内の各青年や婦人団体に生活記録運動が展開されつつあるが、教育委員会ではこの四月に才一第才二號と生活記録集録を登

中山美枝

夜をも眠れぬ夜あり

生ひたち
社会に出でし子を案じ
つ

子を思ふ心　今昔なき
のを
子は如何にして親に叛
ぞ
○嫁と娘（こ）に持て余
れし老母あり
我が老ひの身の幸を喜

生活記錄原稿募集

.....☆☆

来月の九月號は特に家
りの問題に關連して次
り原稿を募集するので
設の内容の投稿を期待
くから町内の各青年や婦
を通して検討するため
必要な問題点につき、記
りよい生活に高めるため
和夫の生活などある。

1 課題「家庭の中の話しをどの様にもつて。又はどの様にもつて。」

したところ好評であるの
 今月の弘報から特に「生
 記録欄」を特設して本運
 を側面から応援すること
 いか」
 右の課題内容を含ん
 活記録を募集します
 2原稿メー 八月二十

部門	月別	計 画		実 施					
		事業 名	規模 予 算	月 日	内 容	規模 支 出			
生活改善部	3	講習会（衛生）	1	500	3,19	産児調節と育児衛生	1	500	
	4	“（蔬菜さい培）	1	500	4,13	蔬菜さい培と防除	1	500	
	4	“（料理）	1	1,100	4,29	鯔の作り方と手近にできる栄養料理	1	1,200	
	11	研究会（ビン詰）	1	700	11,15	秋刀魚と野菜	1	800	
	11	“（料理）	1	800					
	4	敬 老 会	1	1,500	3,26	区域内の組合員以外の老人	1	2,000	
	10	改 良 風 呂	2		10,14	滝 本、口 田	4		
	5~9	D D T 撒 布	2		5~9	全戸一斉に行う	2		
	2~12	ね ず み 駆 除	5		2~12	“	2		
		毎月	生活資材共同購入	12		毎月	月一回農協より	12	
青少年部		“	共 同 貯 蓄	12		“	月一回班長が集めて農協へ	12	
		便 所 の 消 毒				随 時 行 う			
	5~9	大 掃 除	2	2,000	5~9	春 秋			
	2	十勝青協研究会	1	300	2,4	仙美里 3名出席	1	3,000	
	3	衛生講習会	1	500	3,19	生活改善部と共催	1	300	
	4	料理 “	1		4,29	“	1	500	
	4	優良クラブ訪門	1						
	8	キャンプ参加	1		9	清水青協	1		
	6~9	現地研究会	3		6~9	各人のプロ園場巡回	3回		
	11	プロジェクト発表会	1	2,000	11,15	清水地区	1	2,000	
部	10	旅 行	1	500	10,25	岩 内 仙 峡		500	
	11	映 画 観 賞	1	1,000	11,27	帯 広 に て	1	1,000	
	5.9	公会堂清掃	2	700	5.9	春 秋	2回	700	

表十才 (其の一) 粗収入と負債の現況

年次	25年	31年	33年	35年
粗收入				
15万以下	1戸 (7.7%)			
15万～20万	1" (7.7%)			
20万～30万	2" (15.4%)	2戸 (15.4%)	1戸 (7.7%)	
30万～40万	4" (30.7%)	5" (38.4%)	2" (15.4%)	1% (7.7%)
40万～50万	2" (15.4%)	3" (23.1%)	5" (38.4%)	2% (15.4%)
50万～70万	2" (15.4%)	2" (15.4%)	4" (30.8%)	5% (38.4%)
70万以上	1" (7.7%)	1" (7.7%)	1" (7.7%)	5% (38.4%)
合計	5,347,000円	6,200,750円	7,047,950円	10,156,340円
一戸平均	411,307	476,980円	542,150	781,257円
農産收入	59%	76%	74%	55%
畜産收入	5%	24	26%	45%

表十才 (其二)

31 年 度		33 年 度		
負 債	戸 数	比 率	戸 数	比 率
50万 以 上	2	15.4%		%
30万～40万	5	38.4	3	23.1
20万～30万	3	23.1	4	30.8
10万～20万	2	15.4	5	38.4
1万～10万	1	7.7	1	7.7
総 負 債 額	4,450,000円		2,613,000円	
1 戸 平 均	342,000		201,000	

表十一	33年度収支予算並に決算
-----	--------------

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	予 算	決 算	項 目	予 算	決 算
前年度繰越金	10,639円	10,636	庶 務 費	17,000	17,538
負 担 金	13,000	13,000	経 営 部	5,000	5,000
借 入 金	25,000	25,000	生 産 部	5,000	5,000
助 成 金	50,000	53,600	生活改善部	5,000	5,000
勞 働 收 入	15,000	15,000	青 少 年 部	7,000	7,000
雑 收	5,361	13,030	農 機 具 費	45,000	42,860
			旅 行 費	25,000	23,300
			雑 費	10,000	16,942
合 計	119,000	130,269	合 計	119,000	122,640
			差 引 残 金		7,629

5 注意
原稿には必ず住所氏名を
明記して下さい。
匿名で出したいときには
その旨書き添えて下さい。

●鬼跳決勝(男)
(1)一四秒四大久保忍(知来)
(2)小野清(仁倉) (3)武方(浜佐呂間)

●鬼跳決勝(女)
(1)二〇秒〇 佐渡(知来)
(2)小野(仁倉) (3)瀬下

青年 陸上
競技大會終る
総合優勝は佐呂間青

●走市跳決勝(男)
(1)六米二五 上野特春(一
佐呂間)(2)工藤俊正(知
来)(3)須藤(浜佐呂間)
●走市跳決勝(女)
(1)三米五七 青野千恵子
(如来)(2)明恵美子(浜

去る六月二十八日佐呂間
中学校グラウンドに約四〇〇
人（青年と集り開催さんた
る）

①五九秒九 十亀伸一
（佐呂間） ②吉本敏彦
（栄） ③大槻允英（浜

佐呂間) (3) 橘井邦子 (榮)

①一二秒五 西村重治
(若里) ②池田富夫

呂間) (3) 工藤俊正 (知來

●総合
第一位 佐呂間青年団

幌岩 ③田中利夫（栃本）

◎走高跳決勝(女)

●男子

才二位 浜佐呂間 "

才三位 知来 "

才一位 佐呂間青年団
浜佐呂間 "

●二百米決勝(女)

①一五秒九 鈴木テル子

②伊東カヨ子(概岩)

③松本初江(榎木)

●二百米決勝(男)

●砲丸投決勝（男）
 (1) 一一米一六 吉峰謹次
 (左呂間) (2) 西村重治
 (3) 武方（浜佐呂間）
 (2) 田館榮子（佐呂間）
 (1) 栄一

①二五秒七 玉置俊行
 ②鈴木俊得(若里) ③宮
 木清政(佐呂間)
 ④二〇米決勝(女)
 ⑤女子
 ⑥三位 知来
 ⑦二位 浜佐呂間青年団
 ⑧二位 佐呂間

●砲丸投決勝(女)

才二位 佐呂間
 才三位 知米
 以下各種目成續次の通り
 ④四百米決勝(男)
 ①三三秒九 金子洋子
 (若里) ②大川則子(近
 佐呂間) ③門惠美子(近
 佐呂間)

(1) 八米一六 山本芳江
(佐呂間) (2) 柴田八重子
(富武子) (3) 今井玉枝
(榮)

●千五百米決勝(男)
 (1)五分八秒二 佐藤為夫
 (仁倉) (2)山内忠義(浜
 佐呂間) (3)加藤肇(榮)

●八Kマラソン
 (1)二五分五七秒二 宮嶋
 勝美(若里) (2)佐藤為夫
 (仁倉) (3)山内忠義(浜
 佐呂間)

●四百米R(女)
 (1)一分七秒九 浜佐呂間
 (2)栃木 (3)佐呂間

●八百米R(男)
 (1)一分五二秒六 若里
 (2)栃木 (3)浜佐呂間

●モデルリリー
 (1)二分一秒四 知来
 富武士 (3)幌岩

●俵かつぎ
 (1)一〇秒八 兼平登(富
 武士) (2)梶秀雄 (3)小
 野清(仁倉)

●円盤投決勝(男)
 (1)二八米三七 渡辺凱歌
 (浜佐呂間) (2)吉峰謙次
 (佐呂間) (3)中林昭夫
 知来)

●円盤投決勝(女)

(1)二一米一〇 片平澄子
 (佐呂間) (2)大沢(富武
 士) (3)柴田八重子

●ボール投決勝(男)

(1)六九米二五 中林昭士
 (知来) (2)片田剛一(浜
 佐呂間) (3)沼本隆光

●スプリンクス決勝(女)

(1)一〇秒五 清水勝子
 (知来) (2)橘井邦子 (3)
 上(若里)

教育委員会所管貸出用レコード目録

表	裏	
グ ア レ タ・ワ ル ツ	ビール・アンド・トウ・ボルカ	フ ォ ー ク ダ ン ス の 部
コ リ ー ド	五 木 の 子 守 歌	
ト ロ バ ソ ン カ	ア レ キ サ ン ド ロ フ ス キー	
ラ イ ワ ル ツ	木 の 靴	
ト ロ イ カ	パ ル ソ ビ ン ナ	民 謡 踊 り の 部
マ ギ ー・ア ン ド・ジ ョ ッ ク	デ ユ ー ク・オ ブ・パ ー ス	
テ ン・プ リ テ イ・ガ ー ル ズ	シ エ ー シ ー ボ ル カ	
ハ ー ド・タ イ ム	ネ リ ー と 歌 え ば	
ビ リ カ ビ リ カ	時 計 台 の 鐘	子 供 踊 り の 部
第 三 の 男	カ フ エ ー・モ ツ ア ル ト・ワ ル ツ	
ブ ラ ッ ク・ボ ウ ク・ワ ル ツ	リ ッ ト ル・マ ン・イ ン・ア・フ イ ツ ク ス	
ネ リ ー と 歌 え ば	ハ ー ト・タ イ ム	
オ ス ロ ー・ワ ル ツ	シ ビ テ イ・シ ビ タ	子 供 踊 り の 部
パ ツ チ・ダ ン ス	ヒ ネ ー・マ・ト フ	
エ ア ス コ・ゴ ロ ー	ド ウ ー ド レ プ ス カ	
東 京 ば や し	浜 村 都 節	
相 馬 盆 唄	そ う ら ん 節	子 供 踊 り の 部
東 京 音 頭	お 江 戸 日 本 橋	
花 笠 踊 り	お き や が り 音 頭	
日 光 和 楽 踊 り	町 か ら 村 か ら	
相 馬 盆 踊 り	ひ え つ き 節	子 供 踊 り の 部
豊 年 音 頭	北 海 子 供 お どり の 歌	
ひ え つ き 音 頭	ま ん ま る お ん ど で	
真 室 川 音 頭	や く ら 太 鼓 音 頭	
子 供 盆 お どり 歌	東 京 こ ど も 音 頭	
子 供 盆 ま つ り		
お 月 見 お どり		
に こ に こ 音 頭		

心をつなぐりをして
生活記録に

佐呂間町若佐農協婦人部武士支部
青木うら子

只今から佐呂間町の中に、ついでに、皆様とある会員五五名をかゝり、読んで頂きたいと存じます。武士婦人部の生活記録を中へ、

心とした小さな動きを御参り、先づ私達が生活記録活動を進め、に申上げますが、こゝりあげるようになつた最、と別に町教委と町協協で、初の動機から申上げました。婦人の生活記録を、発行致して居りまして、その中、実は昨年の九月白滝温泉に私達グループの記録も、で、網協協の理事が御座居る。

ました。其の時の話し合の中、「落書帖としてノートを編んでいる」と云う或る理事さんのお話を、はじめてお聞きして、「私達の方もやつて見たい。自分達の生活に直接役立つグループ活動でなければ、他に足らないものになつてしまふ。その位のことなら私達でもやれるのぢやないか」と思ひまして、帰つて早速会の皆さんに相談致しました。ところが皆様がおつしやるに「今まで、私達は書く、と云う事をしばらくの間忘れていたが、鉛筆を持つて、云う事は本当に必要だ。思ひの事を書いて次の集りに話合ひ有意義な会合にしたい。今までは少しも賢明な自分達になりたては一度に良妻賢母までには行かないだらうが、少くも良い家庭の主婦となるべく、学ぶにはやり易い事だ。」と話が一致いたしました。早速十月から落書帖として「ノート」を編はじめました。初め二〇人の武士才一婦人部員グループに廻しましたところ、思ひのほか面白く、書けました。誰しも自分を又、或る人の書いた中に、このように皆様は切つて

七月二十二・二十三
網走管内婦人大会で
青木うら子さん
実績発表

去る七月二十二、二十三、録活動を婦人会活動にとり日の雨、温根湯に於て、あけて会員の心のつながり、四回網走管内婦人大会が開、を高め、て、実情を発表し、催され約六〇〇名の各町村、で万堂の賞讃を浴びた。以の婦人の参加者があつたが、下当日の発表原稿を記す、この席上、若佐農協婦人部、で大いに会活動に役立て、長青木うら子さんは生活記、頂きたい。

1他人の欠点を云うのはやめよう。
2人の美点を讀みえよう
3自分の欠点を反省しよう

と云う一節を讀みあげたとき「本當にそうすね。他人の悪い噂話は云はない。又、聞かない様にしたい方がよいですね」ということに、次いで「私はどうも短気で、子供に教えるのに、すぐおこつたり、たゝいたして後でしつめたと思つて、と云う方が出る」と「誰しも同じですが、五〇数えてからたゝいた方がよいので、そのうちに自分の必が冷静になるからでしよう」とか、話に花が咲いて自分の欠点を、つぎに話合ひ、どうなてもムスメさんと問うう位、若々しい方もおられます。

八月の社会教育関係行事

町内開催分

- 〇二日 根室津町教職員キャンプ 隊来町(一行七〇名) 於 富武士浜
- 〇三日 美幌町青協キャンプ隊来町(一行三〇名) 於 富武士浜
- 〇三日 砂川市電報電話局職員キャンプ隊来町(一行六名) 於 富武士浜
- 〇四日 富武士浜 食生活改善講習会 講師 東京都栄養改善推進 会常任理事 桜井直一郎先生
- 〇四日 若佐公民館 五日 若佐青年研修所 六日 佐呂間高等学校 七日 仁倉公民館

内容 食生活改善の講話 調理実演

〇八日 九日

居ります。朝起きると夜ねるまで夏の期間は全く忙しさに追はれ通し、という位の農家の主婦達ですが、仕合せを願ひ、夫や子供達の手をこめて働き、又、命に学び、頭をしばつて、栄養食に心がけて居ります。おかげで此の頃の農家の主婦の笑顔の明るさ。それに昔とくらべて母さん方が若くなつて居る……というこは、グループ活動を中心とお勉強のあらわれではないでしようか。

私達のグループ活動を見学にいらした秋山さんという理事さんが「今日の会にはムスメさんも来て居られるんですか?」と問はれた程、お子さんが二人もある方でもムスメさんと問うう位、若々しい方もおられます。

警察署のしくみと
仕事の内容について

(二頁よりつづく)

●防犯係
犯罪の予防、青少年の事件や相談、質屋、古物店、料理店、キャバレー、パチンコ屋、家出人、迷子銃砲刀剣、火薬類、麻薬かくせいの刑などの取締の仕事。

●捜査係
犯罪の捜査、検挙、留置人の取扱などの仕事。

●鑑識係
犯人の写真、指紋、犯罪のやり方など科学捜査の仕事。

●警ら交通係
派出所、駐在所の仕事や警備、災害の警備をはじめ、交通関係、つまり、自動車運転免許、道路使用についての仕事、大きな荷物の運搬許可、交通取締、交通事故取扱いなどの仕事。

●警備係
大衆犯罪の予防と取締、外国人関係の仕事。

●派出所、駐在所
その土地の重要度に応じ、警部、警部補、巡査部長などの幹部派出所を置き、その他の土地には派出所(交番)や駐在所を

最近民間航空の発達に従つて航空路もぐんぐん延び、北海道の空高く飛行機が飛び合つて居る様ですが、まだ、道北の私達にはその利用の機会もありませんが、一生に一度はぜひ乗つてみたいと思つて居る方が大勢おいでになること存じます。そこで佐呂間町観光協会では八月月中旬に佐呂間湖へ一八〇型セスナ水陸兩用機を持ってくることに致しました。本飛行機は現在阿寒国立公園で遊覧飛行を行つて居るものです。

むし暑い今日頃、ゆつくりと雄大な自然美を持つサロマ湖での静遊を兼ね、空から波流きオホツク海とこ

社会福祉協議会に篤志寄附

このたびの方々より出生祝ならびに香典返しを願ひ、恵まれない方の毒な方々の援助資金にとそれれ金一封の御寄附があり、この紙上より厚くお礼申し上げます。(敬称略)

町内字永代町 山崎弘(佐呂間高校校長) 死亡
同知来 黒沢謙(三男義則死亡)
同西富 佐藤栄(長女久美出生)
同宮前町 中村貞雄(長男雅司出生)

人を捜査、検挙する。
○青少年のいろいろな相談
○受持区域内の犯罪予防、巡回。
○迷子や家出人、急病人などの保護
○交通事故の取扱、交通取締。
○落し物、ひろい物の交付
○地理の案内。
○受持区域の質屋、古物商料理店、キャバレー、パチンコ屋などの取締。
(巡査部長派出所)

金田一昌三先生
北海道立図書館司書
三浦信一先生
本町より佐藤主事分科会講師として出席
外に二名出席予定
〇八日 九日
NHKキャンプの集い
於 常呂町カキ島
〇十日 十一日
管内市町村体育指導委員研修会 後一時から
於 遠軽町公民館
本町より牧野委員出席予定
〇十六日
滝上町青年研修会に佐藤主事講師として出席